

2025 年7－9月期GDP2次速報後のGDPギャップの推計結果について

1. 国民経済計算の令和2年基準改定、2025年7－9月期のGDP2次速報を反映したGDPギャップ(注1～2)の推計結果は▲0.2%となった(図1～2、表1)。

(注1) GDPギャップ＝(実際のGDP－潜在GDP)/潜在GDP。この推計にあたっては、潜在GDPを「経済の過去のトレンドからみて平均的な水準で生産要素を投入した時に実現可能なGDP」と定義している。GDPギャップの大きさについては、前提となるデータや推計方法によって結果が大きく異なるため、相当の幅をもってみる必要がある。

(注2) 従来 1980 年以降の推計結果を公表していたが、基礎統計の利用可能期間などを考慮し、今後については 1994 年以降の推計結果を公表することとする。

図1 GDPギャップの推移

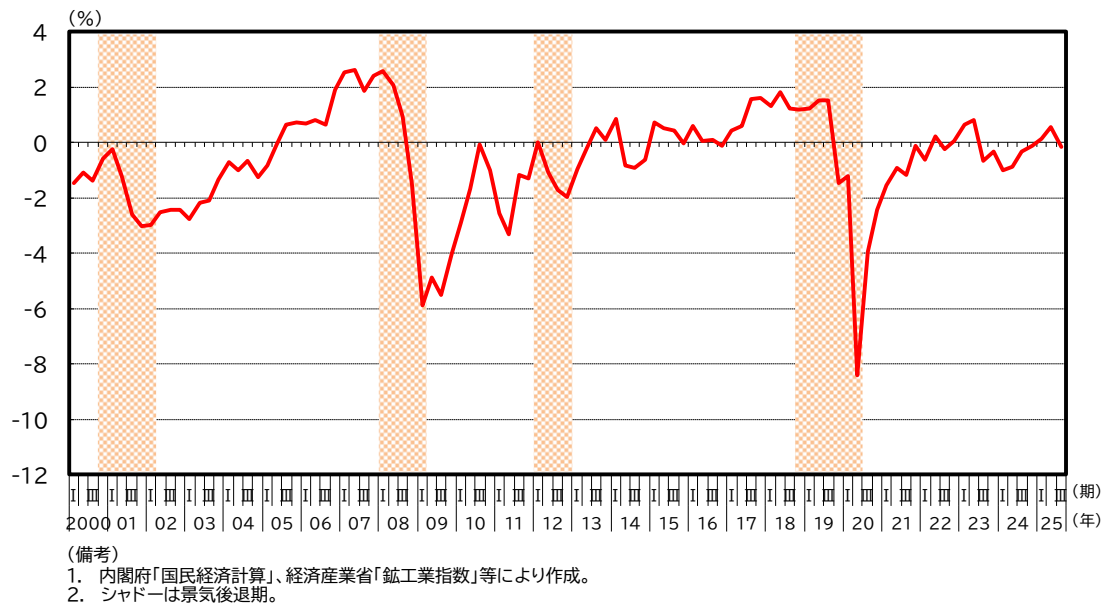


図2 GDPギャップの新旧比較

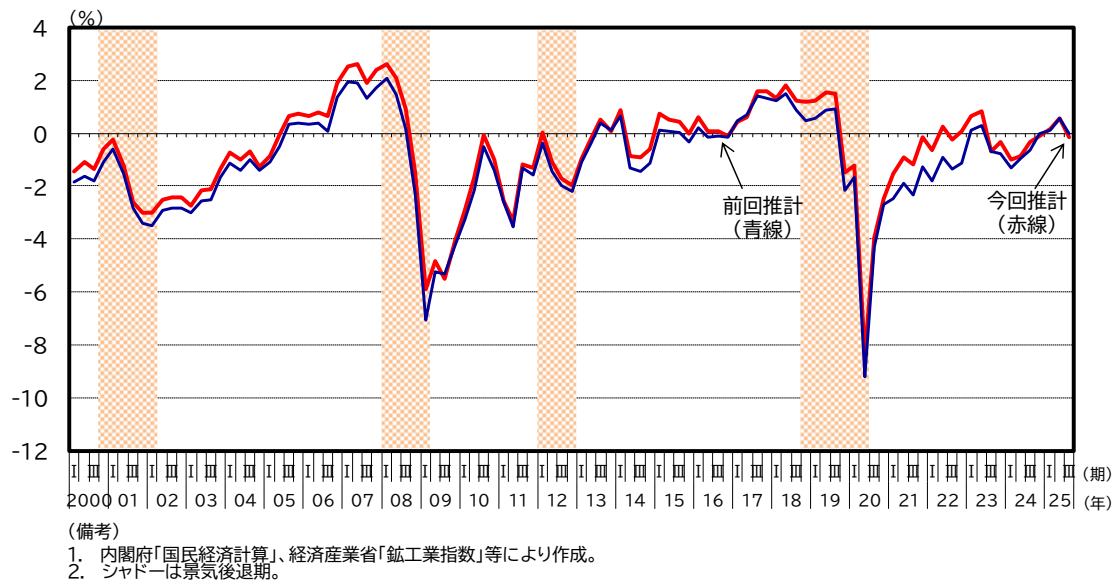


表1 GDPギャップの推移

	2018				2019				2020				2021			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
25年7～9月期2次QE後	1.3	1.8	1.2	1.2	1.2	1.5	1.5	▲1.5	▲1.2	▲8.4	▲3.9	▲2.4	▲1.5	▲0.9	▲1.2	▲0.1
25年7～9月期1次QE後	1.2	1.5	0.9	0.5	0.6	0.9	0.9	▲2.1	▲1.6	▲9.2	▲4.3	▲2.7	▲2.5	▲1.9	▲2.3	▲1.3

	2022				2023				2024				2025			
	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
25年7～9月期2次QE後	▲0.6	0.2	▲0.2	0.1	0.7	0.8	▲0.7	▲0.3	▲1.0	▲0.9	▲0.3	▲0.1	0.2	0.6	▲0.2	
25年7～9月期1次QE後	▲1.8	▲0.9	▲1.3	▲1.1	0.1	0.3	▲0.7	▲0.8	▲1.3	▲1.0	▲0.6	▲0.0	0.1	0.5	▲0.0	

担当:参事官(経済財政分析—総括担当)付 酒井 遼、並木 智春

直通:03-6257-1572